



新年が明けて早くも 1 ヶ月が立ちました。

今年も上杉雪灯籠まつりの時期がやって参りました、早いもので第 41 回だそうです。近頃は今期最強寒波や過去最強クラスの寒波などと紙面等を賑わしております。地球温暖化はどこへ行ったのか。まだまだ寒い日が続きます体に注意して冬を乗り切りましょう。

さて、2019 年 5 月 1 日に新天皇が即位して元号が変わります、そこで疑問元号とは、

古くは王の即位から年を数えましたが、一定の起算点を定めて年数を数える方法が考えられ、中国の前漢の武帝のときに使用され始め、次第に近隣諸国でも使用されるようになりました。

日本では、飛鳥時代に元号が使用されるようになったといわれています。

日本で最初の元号は「大化」で 645 年 7 月から現在の「平成」まで長い歴史の中で数多くの元号が生まれました。

慶応 4 年(1868 年)を明治元年に改元したときに、一世一元と決められました。一世一元とは、天皇ひとりにひとつの元号ということです。

それ以前は決まりが無く、占いや天変地異などの理由で短期間に改元されることもありました。

元号を使っている国は、日本だけだそうです。新しい元号は何に決まるのかも少々お待ちください